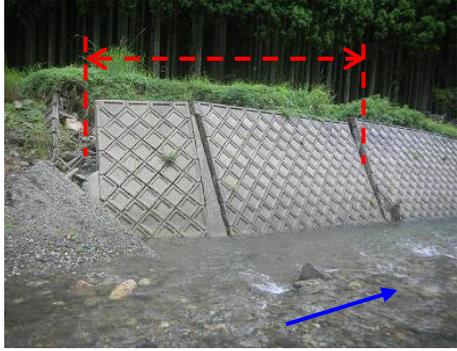
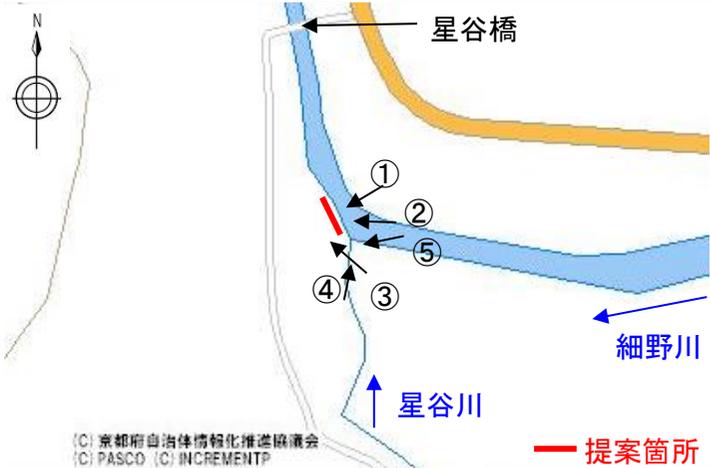
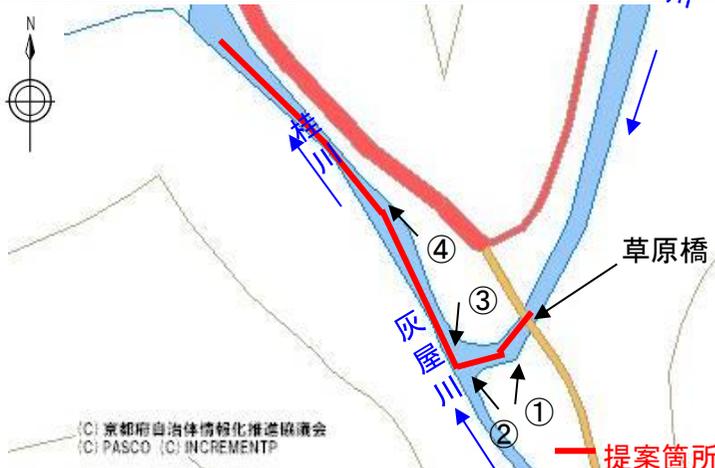
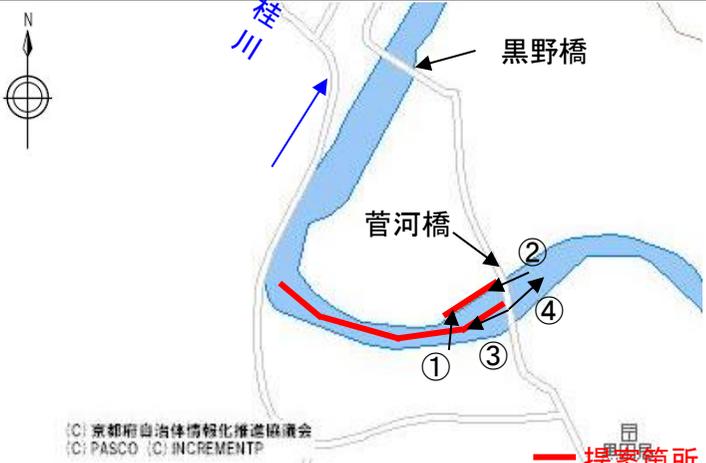


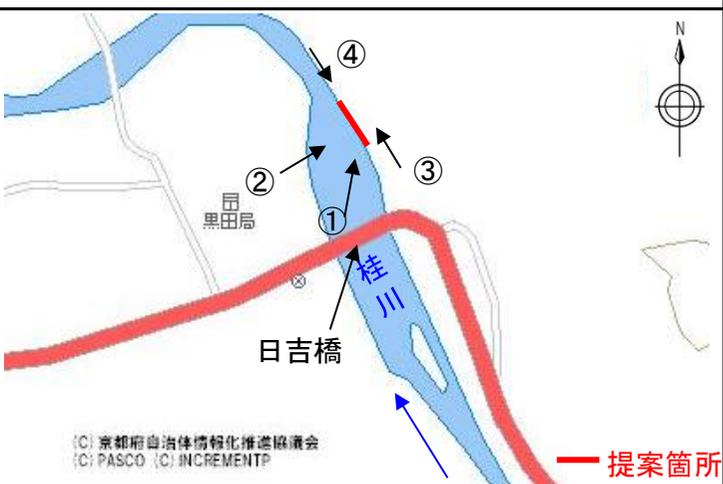
番号	23	写真
路線・河川名等	細野川	
所在地	<small>キョウトシウキョウケイホクホソノチョウ</small> 京都市右京区京北細野町	
提案内容	護岸の改修及び土砂浚渫	 
現在の状況	ブロック積護岸が崩壊し背面土まで洗掘されている。(写真①～③) なお、上流部において、ブロック積護岸には損傷は見られないが、取合部の一部に破損が見られた(写真⑤)。 (対象延長 護岸改修 左岸約12m)	 
第1・2段チェック	対象施設であり技術審査結果もすべて評価は○である。	
対応案及び実施不可の場合の理由	今後の大雨による増破を防ぐため、提案どおり護岸の改修を図る。なお、星谷川の浚渫は行わない。(京都市管理のため)	
位置図	 <p>星谷橋</p> <p>細野川</p> <p>星谷川</p> <p>— 提案箇所</p> <p><small>(C) 京都府自治体情報化推進協議会 (C) PASCO (C) INCREMENTP</small></p>	

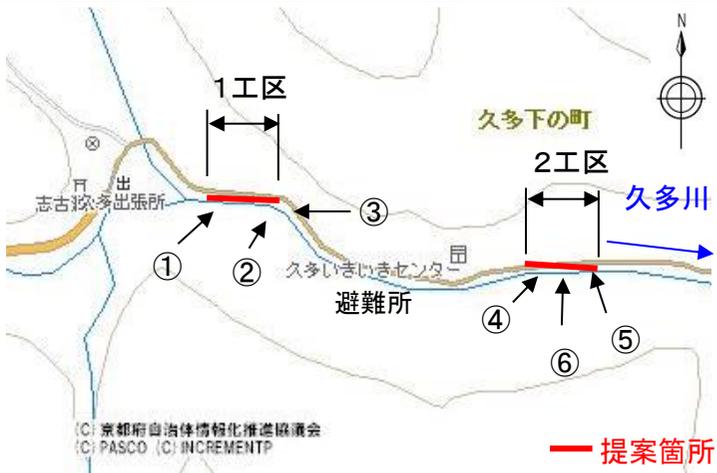
番号	24	写真
路線・河川名等	桂川・灰屋川	
所在地	<small>キョウトシウキョウケイホクカミクロダチョウスイデ</small> 京都市右京区京北上黒田町水出	
提案内容	土砂浚渫 (関西電力黒田取水堰堤から草原橋まで)	 
現在の状況	桂川と灰屋川の合流部において、河川が湾曲しており曲部の内側に土砂が堆積し、一部川幅が狭くなっている。 (対象延長 約350m)	<p>写真① 土砂堆積状況</p> <p>写真② 土砂堆積状況</p>
第1・2段チェック	対象施設であり技術審査結果もすべて評価は○である。	
対応案及び実施不可の場合の理由	堆積土砂による河積阻害率が10%を超える箇所について、河床整正、土砂浚渫を行い、治水安全度の向上を図る。	 
位置図	 <p>位置図</p> <p>桂川</p> <p>灰屋川</p> <p>草原橋</p> <p>① ② ③ ④</p> <p>— 提案箇所</p> <p><small>(C) 京都府自治体情報化推進協議会 (C) PASCO (C) INCREMENT</small></p>	<p>写真③ 土砂堆積状況</p> <p>写真④ 土砂堆積状況</p>

番号	25	写真		
路線・河川名等	桂川			
所在地	<small>キョウトシウキョウケイホクミヤチョウクロノ</small> 京都市右京区京北宮町黒野			
提案内容	護岸の改修および土砂浚渫			
現在の状況	当該区間は蛇籠による護岸が形成されているが、劣化による損傷が見られ、一部破損している。 また、土砂堆積により一部川幅が狭くなっている。 (対象延長 護岸改修 右岸約33m、土砂浚渫170m)	写真① 護岸現況	写真② 護岸現況	
第1・2段チェック	第2段階 × (早期対応の必要性は認められない。)			
対応案及び実施不可の場合の理由	蛇籠護岸は屈とう性があり、一部破損しているが護岸としての機能は保持されている。土砂堆積においても、河積阻害率が10%未満であり、治水安全上問題はなく、早期対応の必要性は認められない。経過観察を行う。			
位置図			写真③ 土砂堆積状況	写真④ 土砂堆積状況

番号	26	写真	
路線・河川名等	桂川		
所在地	<small>キョウトシウキョウケイホクミヤチウクロノ</small> 京都市右京区京北宮町黒野		
提案内容	蛇籠堤防に腐食による破損があり、コンクリート護岸による改修(兩岸 延長約200m)	 	
現在の状況	当該区間右岸側については、蛇籠による護岸が形成されているが籠の劣化による影響から一部破損している箇所がみられた。左岸側については、土羽及び空石積による護岸が形成されているが、土羽護岸の一部が崩壊し、土砂が流出している。 また、土砂の堆積により一部川幅が狭くなっている。	 	
第1・2段チェック	第2段階 × (早期対応の必要性は認められない。)		
対応案及び実施不可の場合の理由	蛇籠護岸は屈とう性があり、一部破損しているが護岸としての機能は保持されている。土砂堆積においても、河積阻害率が10%未満であり、治水安全上問題はなく、早期対応の必要性は認められない。経過観察を行う。	 	
位置図			

番号	27	写真
路線・河川名等	桂川	
所在地	<small>キョウトシウキョウケイホクシモクロダチョウツルノ</small> 京都市右京区京北下黒田町鶴野	
提案内容	河川氾濫により、農地に土砂、流木等が散乱したことによる左岸護岸の嵩上げ 落差工上流の土砂浚渫	 
現在の状況	土砂堆積により一部川幅が狭くなっている。 左岸側護岸については、被災箇所は見られないが護岸の天端高が低くなっている箇所がある。 (対象延長 土砂浚渫 約90m)	<p>写真① 土砂堆積状況</p> <p>写真② 土砂堆積状況</p>
第1・2段階チェック	第2段階 × (早期対応の必要性は認められない。)	
対応案及び実施不可の場合の理由	堆積土砂による河積阻害率が10%未満であり、護岸も健全であり、早期対応の必要性が認められない。なお、農業用水取箇所の浚渫は農業用水管理者が行うべきものである。 川	 
位置図		<p>写真③ 左岸護岸状況</p> <p>写真④ 左岸護岸状況</p>  <p>写真⑤ 左岸護岸状況</p>

番号	28	写真	
路線・河川名等	桂川		
所在地	<small>キョウトシウキョウケイホクミヤチョウヒヨシ</small> 京都市右京区京北宮町日吉		
提案内容	崩壊箇所の護岸の改修		
現在の状況	土羽護岸で形成されており、水位上昇より土羽護岸が崩壊している。なお、その影響で田面の畦の一部が崩壊している。 (対象延長 右岸約16m)		
第1・2段チェック	対象施設であり技術審査結果もすべて評価は○である。		
対応案及び実施不可の場合の理由	崩壊が著しい箇所について、今後の大雨による増破を防ぐため改修を図る。		
位置図	 <p style="text-align: right;">— 提案箇所</p>		

番号	29	写真	
路線・河川名等	久多川		
所在地	<small>キョウトシサキョウクタンシモノチョウ</small> 京都市左京区久多下の町		
提案内容	H25年、26年の豪雨により河川が氾濫し、避難所が一時孤立したことによる護岸の嵩上げ。(2箇所)		
現在の状況	久多川河床より府道までの高さが2.5m程度であるが、周囲の状況に比べ比較的低いとおもわれる。(対象延長 1工区左岸約150m、2工区左岸約100m)		
第1・2段チェック	第1段階 × (④大規模な工事であるため)		
対応案及び実施不可の場合の理由	対象外のため、実施しない		
位置図	 <p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥</p> <p>1工区 2工区</p> <p>久多下の町 久多川</p> <p>久多いきいきセンター 避難所</p> <p>志古津出張所</p> <p>— 提案箇所</p> <p>© 京都府自治体情報推進協議会 © PASCO © INCREMENT</p>		
 <p>写真⑤ 提案箇所全景(2工区)</p>	 <p>写真⑥ 護岸高2.2m</p>		

番号	30	写真	
路線・河川名等	高野川		
所在地	<small>キョウトシサキョウカミタカノキノタチョウ</small> 京都市左京区上高野木ノ下町		
提案内容	雑木の伐採		
現在の状況	石積護岸から立木が生えている。 (対象延長 左岸約15m)	写真① 提案箇所全景	
第1・2段チェック	対象施設であり技術審査結果もすべて評価は○である。	写真② 雑木	
対応案及び実施不可の場合の理由	提案箇所の雑木は、護岸より繁茂し河積阻害となっており、治水安全度の向上を図るため伐採する。		
位置図			

番号	31	写真	
路線・河川名等	裏谷川		
所在地	<small>キョウトシサキョウシズイチシズハラチョウ</small> 京都市左京区静市静原町		
提案内容	砂防ダムから下流支川合流区間が侵食され大小の岩が転石していることによる小規模な砂防ダムおよび流路工の設置。		
現在の状況	当該区間の上流砂防堰堤より下流へ約130mの区間は流路工がなく川底が洗われ大小の岩が転石している。支川合流部より静原川合流部までは護岸及び川底は整備されているが、住宅地域を曲折して流れている。(対象延長 約220m)		
第1・2段チェック	第1段階 × (④大規模な工事であるため)		
対応案及び実施不可の場合の理由	対象外のため、実施しない		
位置図			
			

写真① 砂防ダム堆積状況

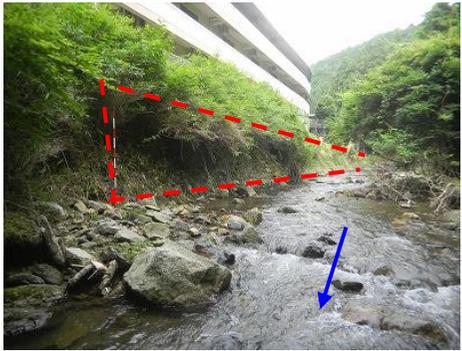
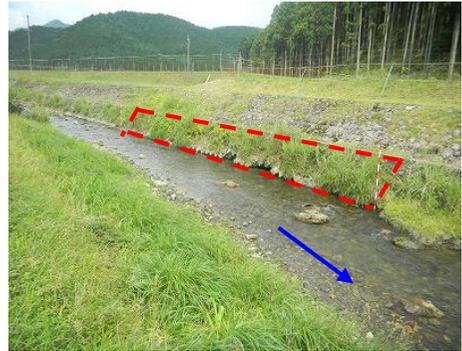
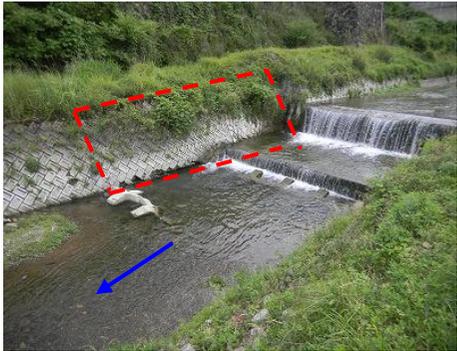
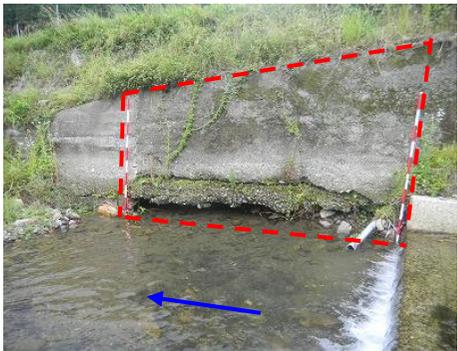
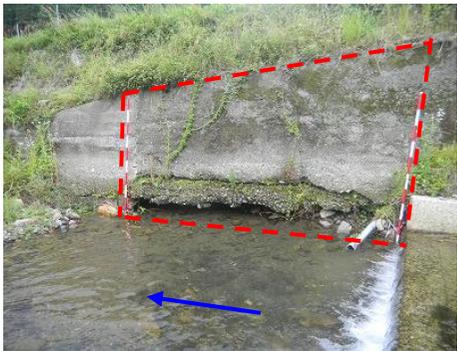
写真② 提案箇所現況

写真③ 支川合流箇所

写真④ 現況水路

写真⑤ 現況水路

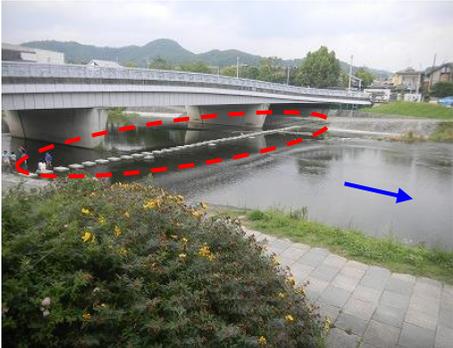
写真⑥ 支川状況

番号	32	写真
路線・河川名等	静原川	
所在地	<small>キョウトシサキョウクシズイチシズハラチョウ</small> 京都市左京区静市静原町	
提案内容	護岸の改修 (稲荷橋下流から老人保健施設しずはうすまで)	 
現在の状況	1工区: 空石積護岸の一部が損傷している。(右岸約90m) 2工区: 空石積護岸の一部が洗掘され、洗掘深さは60cm程度となっている。(左岸約19m) 3工区: 石積護岸の下部が60cm程度洗掘され、背面土の一部が崩落している。(右岸約12m) 4工区: 空石積護岸の一部が損傷している。(左岸約26m) 5工区: 護岸下部が70cm程度洗掘している。(右岸約5m)	 
第1・2段チェック	対象施設であり技術審査結果もすべて評価は○である。	
対応案及び実施不可の場合の理由	損傷・洗掘した護岸で損傷の著しい箇所や、家屋など影響の大きい箇所について、大雨による増破を防ぐため、根継工等の護岸補強や護岸改修を図る。(写真①、③、④、⑥)その他の区間(写真②、⑤)は、経過観察を行う。	 
位置図		 

番号	33	写真	
路線・河川名等	鴨川		
所在地	<small>キョウトシキタクカミガモナカシマカワラチョウ</small> 京都市北区上賀茂中嶋河原町		
提案内容	1) 鴨川公園運動場駐車場出入口の拡幅 2) 鴨川公園運動場南側グラウンドの整備 (グラウンド嵩上と雑流木防止柵設置) 3) 柵野砂防堰堤 上流側の土砂浚渫	 	
現在の状況	1) 当公園の駐車場門扉の間口が4.0mと狭く、前面道路がカーブしているため見通しが悪い。 2) 北側及び南側グラウンドともに、増水時には雑流木の流入が考えられる。 3) 砂防堰堤より上流部に土砂が堆積しており、川幅が狭くなっている。(対象延長約120m)	 	
第1・2段チェック	第1段階 × (⑤グラウンドの浸水対策は他事業で実施)		
対応案及び実施不可の場合の理由	グラウンドの浸水対策について、他事業で実施する。出入口の拡幅と、河積 曝 害率が10%未満の箇所の土砂浚渫については、早期対応の必要性が認められない。経過観察を行う。	 	
位置図			

番号	34	写真	
路線・河川名等	鴨川		
所在地	<small>キョウトシキタクカミガモオオヤナギジョウ</small> 京都市北区上賀茂大柳町		
提案内容	鴨川通学橋より上流には低水護岸がなく、石積護岸であり水害対策として不安であることによる護岸の整備(志久呂橋から通学橋まで)		
現在の状況	鴨川通学橋より上流部については低水護岸はなく、空石積による堤防となっている。空石積護岸には被災箇所は見られないが、雑草が繁茂している。(対象延長 約400m)		
第1・2段チェック	第2段階 × (早期対応の必要性が認められない。)		
対応案及び実施不可の場合の理由	護岸の現況調査を実施したが損傷はないため、護岸補修は実施しない。経過観察を行う。		
位置図			
		写真⑤ 左岸 護岸状況	写真⑥ 右岸 護岸状況

番号	35	写 真	
路線・河川名等	鴨川		
所在地	<small>キョウトシキタクカミガモアサヌガハラチョウ</small> 京都市北区上賀茂朝露ヶ原町		
提案内容	西賀茂橋南左岸の3面のグラウンド整備。		
現在の状況	適切に管理されており、特に問題はない。	<p>写真① 提案箇所全景</p>	<p>写真② 提案箇所近景</p>
第1・2段チェック	第1段階 × (②利便性向上・環境整備に関すること)		
対応案及び実施不可の場合の理由	対象外のため、実施しない		
位置図			

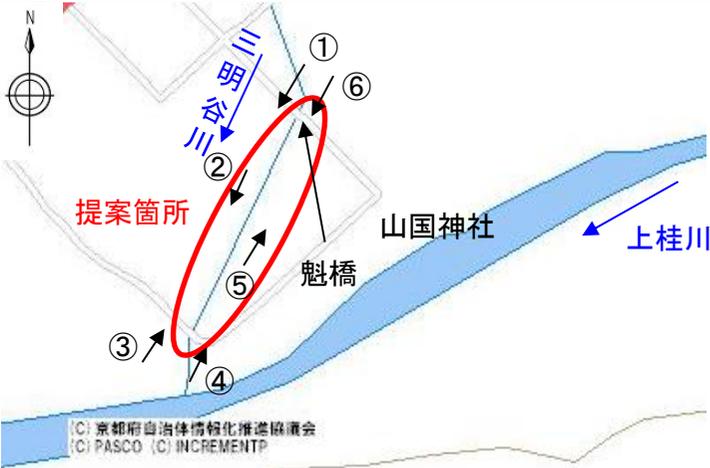
番号	36	写真
路線・河川名等	鴨川	
所在地	<small>キョウトシキタクカミガモアサツユガハラチョウ</small> 京都市北区上賀茂朝露ヶ原町	
提案内容	・鴨川親水のため、西賀茂橋と御蔭橋の間に飛び石を設置。	 
現在の状況	西賀茂橋と御蔭橋の間では、西賀茂橋下流に飛び石が設置されている。	 
第1・2段チェック	第1段階 × (②利便性向上や環境整備に関すること)	
対応案及び実施不可の場合の理由	対象外のため、実施しない	
位置図		
		

景観整備

府民公募型整備事業(市町村協働型・**府民提案型**)

番号	37	写真	
路線・河川名等	鴨川		
所在地	<small>キョウトシキタクカミガモ～サキョウクシモガモ</small> 京都市北区上賀茂～左京区下鴨		
提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北山大橋から葵橋までの左岸の桜並木の修復。 ・北大路橋から下流左岸側の官民境界の不備。 ・カラミザクラの保全。 	 	
現在の状況	近年、やや桜の樹勢が低下している。	 	
第1・2段チェック	第1段階 × (①対象となる施設ではないため。)		
対応案及び実施不可の場合の理由	対象外のため、実施しない		
位置図			
		 <p>写真⑤ 葵橋付近 左岸現況</p>	 <p>植物園より高木が繁茂</p> <p>写真⑥ 右岸より 植物園方向を望む</p>

番号	38	写真	
路線・河川名等	桂川		
所在地	<small>キョウトシウキョウケイホクリイチョウ</small> 京都市右京区京北鳥居町		
提案内容	東屋付近の石積階段の補修	 	
現在の状況	踏幅40cm、蹴上げ20cm、幅2mの石積階段であるが、19段のうち上部5段が不等沈下している。 なお、石積階段の基礎には蛇籠が使用されていると思われる。 (対象延長 右岸約2m)	 	
第1・2段チェック	第2段階 × (早期対応の必要性は認められない。)		
対応案及び実施不可の場合の理由	階段上部の5段が不等沈下しているが、公園利用者が使用するにあたり特に危険な状態ではなく、早期対応の必要性は認められない。経過観察を行う。	 	
位置図			 

番号	39	写真
路線・河川名等	三明谷川	
所在地	<small>キョウトシウキョウケイホクリイチョウ</small> 京都市右京区京北鳥居町	
提案内容	地域取組みの「さくら」の植樹に伴い、堤防管理通路のカラー舗装等による整備。	 
現在の状況	兩岸共に砂利敷による堤防であり、幅員は右岸で2.4m、左岸で3.0mである。 また、桜の植樹がなされて大きく成長している。 (対象延長 兩岸約170m)	<p>写真① 提案箇所右岸 現況</p> <p>写真② 右岸幅員 2.4m</p>
第1・2段チェック	第1段階 × (②利便性向上や環境整備に関すること)	 
対応案及び実施不可の場合の理由	対象外のため、実施しない	<p>写真③ 提案箇所右岸 現況</p> <p>写真④ 提案箇所左岸 現況</p>
位置図		  <p>写真⑤ 左岸幅員 3.0m</p> <p>写真⑥ 提案箇所左岸 現況</p>

番号	40	写真	
路線・河川名等	清滝川		
所在地	<small>キョウトシキタクナカガワキタヤマチョウ</small> 京都市北区中川北山町		
提案内容	H26年8月の大雨時に浸水の恐れがあったことによる土砂浚渫。 (中川出張所から西山橋付近まで)		
現在の状況	河川が蛇行して流下しており、湾曲部の内側に若干土砂が堆積し、一部川幅が狭くなっている。 (対象延長 約640m)	写真① 提案箇所	写真② 提案箇所
第1・2段チェック	第2段階 × (早期対応の必要性が認められない。)		
対応案及び実施不可の場合の理由	堆積土砂は護岸基礎付近で河積阻害率が10%未満であり、治水安全上問題はなく、早期対応の必要性が認められない。経過観察を行う。	写真③ 提案箇所	写真④ 提案箇所
位置図			
	<small>(C) 京都府自治体情報化推進協議会 (C) PASCO (C) INCREMENTP</small>	写真⑤ 提案箇所	写真⑥ 提案箇所

番号	41	写 真	
路線・河川名等	嵐山東公園		
所在地	<small>キョウトシニシキョウクアラシヤマヒノカミチョウ・アラシヤマアサツキチョウ</small> 京都市西京区嵐山樋ノ上町・嵐山朝月町		
提案内容	嵐山東公園の樹木(ヒマラヤスギなど)の剪定による公園利用者の安全確保	 	
現在の状況	樹木(ヒマラヤスギなど)が大きく枝を張っている状態である。	 	
第1・2段チェック	対象施設であり技術審査結果もすべて評価は○である。		
対応案及び実施不可の場合の理由	当公園には運動施設もあるため、多くの児童や住民の方が利用者されており、歩行者等の通行安全を確保するため、通行上支障となる枝の剪定や、落下しそうな枯れ枝の剪定を行う。		
位置図			
			
		写真① 提案箇所	写真② 提案箇所
		写真③ 提案箇所	写真④ 提案箇所
		写真⑤ 提案箇所	

番号	42	写 真		
路線・河川名等	嵐山公園			
所在地	<small>キョウトシウキョウクサガカメノオチョウ・サガナカノシマチョウ</small> 京都市右京区嵯峨亀ノ尾町・嵯峨中ノ島町			
提案内容	枯れ枝の剪定による公園利用者の安全確保			
現在の状況	枯れ枝が樹木の枝葉に引っかかっている状況である。			
第1・2段チェック	対象施設であり技術審査結果もすべて評価は○である。			
対応案及び実施不可の場合の理由	当公園は海外からの観光客も非常に多く、多数の方が利用されており、歩行者等の通行安全を確保するため、通行上支障となる枝の剪定や、落下しそうな枯れ枝の剪定を行う。			
位置図				
				

番号	43	写真
路線・河川名等	鴨川	
所在地	<small>キョウトシキタクモガハタナツカワチヨウ</small> 京都市北区雲ヶ畑中津川町	
提案内容	侵食された箇所への護岸設置	 
現在の状況	当該区間において土羽護岸であり、一部、侵食されているが、多くは岩が露出している。 (対象延長 左岸約20m)	<p>写真① 提案箇所</p> <p>写真② 提案箇所</p>
第1・2段チェック	第2段階 × (早期対応の必要性が認められない。)	
対応案及び実施不可の場合の理由	背後地は山林であり、谷地形であり川幅も広く溢水の可能性は低い。護岸整備の早期対応の必要性が認められない。	  <p>写真③ 提案箇所</p> <p>写真④ 提案箇所</p>
位置図		